

# 愛知県がんセンター 概要

令和4年度



# 基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

## 基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

## 患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

### 患者さんの権利

1. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

# 目 次

目 的 .....	2
沿 革 .....	2
設置の根拠 .....	3
施設の概要 .....	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数 .....	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務 .....	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備 .....	19
備品 附属設備	
病院業務 .....	20
診療科目等 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務 .....	29
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較 .....	32
外来診療案内・入院案内 .....	33
交通案内 .....	34

# 目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

# 沿 革

昭和36年 1月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4年 2月29日	病棟竣工
平成 4年 5月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6年 3月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6年 5月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7年 6月30日	立体駐車場竣工
平成 7年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9年 3月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2月 7日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4月 1日	臨床研修病院の指定
平成14年 8月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4月 1日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4月 1日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年10月 1日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7月 1日	外来化学療法センター開設
平成26年 3月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4月 1日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成26年 9月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG.ver1.0）
平成28年10月 1日	サルコマーセンター開設
平成29年 4月 1日	個別化医療センター開設
平成30年 4月 1日	リスク評価センター開設
平成31年 3月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4月 1日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4月 1日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和元年 9月19日	がんゲノム医療拠点病院の指定
令和 2年 7月 3日	病院機能評価「一般病院3」の認定（機能種別版評価項目3rdG.ver2.0） 認定期間：令和元年9月27日～令和6年9月26日
令和 3年 5月24日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を開設
令和 4年 4月 1日	個別化医療センター、リスク評価センター、がんゲノム医療センターを統合し、ゲノム医療センターを開設

# 設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置  
 現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

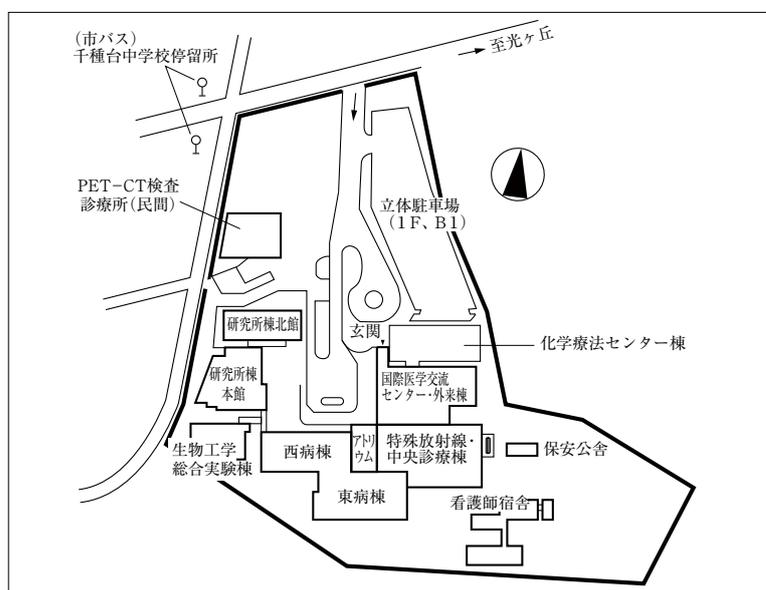
## 業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

# 施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(令和4年4月1日現在)



## 土地・建物

(令和4年4月1日現在)

区分	構造・規模	延床面積	
土地		49,788.56 m <sup>2</sup>	
建物	合計	72,956.46 m <sup>2</sup>	
	病棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m <sup>2</sup>
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m <sup>2</sup>
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m <sup>2</sup>
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m <sup>2</sup>
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m <sup>2</sup>
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m <sup>2</sup>
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m <sup>2</sup>
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m <sup>2</sup>
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m <sup>2</sup>
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m <sup>2</sup>
	その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	370.86 m <sup>2</sup>

# 病院

(令和4年4月1日現在)

## (東) 病棟 (西)

内 容		病床数	階別	内 容		病床数	
機械室			塔屋	機械室			
特別病棟 (混合)		25床	9階	特別病棟 (混合)		25床	
特別病棟 (混合)		30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、頭頸部外科、治験、緩和ケア (緊急))		52床	
一般病棟 (消化器内科・消化器外科)		51床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)		52床	
一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)		51床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射線診断・IVR科、呼吸器内科、消化器内科、整形外科)		51床	
空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床) 一般病棟 (頭頸部外科、脳神経外科) (48床)	52床	5階	一般病棟 (女性専用) (婦人科、乳腺科、形成外科、頭頸部外科、呼吸器内科、消化器内科)		51床	
手術部門、輸血部門		ICU病棟	8床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物療法科、整形外科)		52床
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)等		3階	管理部門 (総長室、病院長室等)		
放射線診断・I V R 部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門 (医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門 (運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計 500床)

## 国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター / 緩和ケアセンター、薬剤部門 (薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ・フィルム庫

## 化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門 (ミキシング室等)

## ゲノム医療センター

ゲノム医療センターは、主に腫瘍細胞に生じた遺伝子異常を検査・同定し治療を行うがんゲノム医療室と、生殖細胞系列異常を検査・同定しがん発症のリスク評価および遺伝カウンセリング等を行うリスク評価室より構成されている。ゲノム医療センターは、当院ががんゲノム医療拠点病院として行う包括的遺伝子プロファイリング検査の窓口として、院内はもとより東海地域からの紹介患者に対応している。包括的遺伝子プロファイリング検査の実施に当たっては、医師による説明に加え常勤のがん医療ゲノムコーディネーターが対応することで分かりやすい説明を心がけるとともに、検査結果については、多職種により構成されるエキスパートパネルを開催し、最適な医療を提供できるよう取り組んでいる。リスク評価室では、包括的遺伝子プロファイリング検査や各診療科で同定された生殖細胞系列異常に対応するとともに、早期からの遺伝性腫瘍のスクリーニング実施など、独自の取り組みも行っている。これらの取り組みにより、ゲノム医療センターとして、がん患者の予防から治療まで関与できることを目指している。



## 光免疫療法

光免疫療法は光の作用でがん細胞を選択的に死滅させるという新しい仕組みによる治療法である。日本で2019年5月に条件付き早期承認制度の対象となり、2020年9月に製造販売承認を取得、2021年1月から保険診療下で世界に先駆けて臨床導入された。当院は国際共同第Ⅲ相試験(2018年12月～)から本治療に関与している。



医薬品および医療機器の承認条件に則り、日本頭頸部外科学会との連携の上で本治療が進められているが、当科医師が学会の運営委員会委員長と委員を務め、また4名が指導医認定を受けている(全国で19名認定)。当院ではこれまでに9症例15施術を実施、他施設への指導役も担い、日本における本治療をリードしている。

## 臨床試験部(介入研究支援室・観察研究支援室・試験支援室)

臨床試験部は、介入研究支援室、観察研究支援室及び試験支援室とで構成され、介入研究支援室は承認申請を目的とした治験、臨床研究法および倫理指針下での臨床研究を支援している。一方、観察研究支援室はバイオマーカーや予後解析を目的とした非介入研究を支援している。さらに、試験支援室は治験を除く臨床研究の事務的支援(倫理審査委員会の運営など)を行っている。当センターでは、数多くの抗がん剤の治験を受託しており(約200件/年)、最近では多くの国際共同治験への参加、医師主導治験も実施中である。また、平成30年4月の臨床研究法の施行に伴い、当センターは、臨床研究審査委員会の認定を取得している。臨床研究を通じて、新しい治療を患者さんに提供することを使命として、臨床試験部は、より円滑な臨床研究の実施を目指し、日々の支援業務を遂行している。

## 先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設定し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンターでは、令和4年4月1日現在、「術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)」を始め5種類の医療技術について提供している。

## IVR-CT

2021年10月にIVR-CT1台が更新された。IVR-CTは血管撮影装置とCT装置が一体型となったシステムであり、患者さんが撮影室間を移動することなく、血管造影検査、CT検査、IVRを迅速かつ安全に行うことができる複合装置である。

1992年にIVR-CTが世界で初めて当院に導入され、現在2台のIVR-CTで、肝細胞癌や転移性腫瘍に対するTACEなどのカテーテル治療、組織診断や遺伝子診断のために画像誘導下で行う生検、病巣に直接穿刺治療を行うラジオ波治療、各種ドレナージなどIVR全般に使用している。今回のシステムは、動画対応血管撮影装置として画素サイズ76 $\mu$ mの高分解能画像を実現、最新のアプリケーションやワークステーションを整備し、より効率的に手技を進めることが可能となった。CT装置は320列面検出器を搭載し、最大ビーム幅160mmのVolume透視・撮影を実現、AI技術の一つであるディープラーニング技術を応用した画像再構成技術で、ノイズの少ない高品質画像の取得と低侵襲検査の両立が可能となった。(図1・2)

最新の装置に更新したことで、検査時間の短縮、検査効率、診断・治療精度の向上、患者さんおよび術者の被ばく低減が可能となり、当院における高度なIVRを実現できるものと考えている。

▶IVR(Interventional Radiology):画像下治療



図1・2

## リニアック(放射線外部照射装置)

当院には3台の外部照射装置がありいずれも高精度放射線治療に対応しているが用途に応じて適応を考慮し運用している。平成18年に強度変調放射線治療(IMRT)専用機であるトモセラピーを新規導入したが、令和元年に最新機のRadixactへ更新した。トモセラピーの特徴である広範囲で複雑な形状の病変に対して質の高いIMRTが実施できる点に加え、新規治療装置では従来機より照射時間短縮、線量低減、治療品質改善が達成され、より高精度の治療を患者さんに提供できる。高精度放射線治療のニーズは今後いっそう増加するのでより高品質な放射線治療を提供することが期待できる。



Image provided by Accuray Japan K.K.

# 研究所

(令和4年4月1日現在)

## 研究所棟本館

	フロア	南	北	フロア	
生物学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館
	5階	腫瘍免疫応答研究分野	腫瘍免疫制御TR分野	5階	
	4階	分子診断TR分野	腫瘍制御学分野	4階	
	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	
	2階	がん予防研究分野 がん情報・対策研究分野	分子腫瘍学分野	2階	
空調機械スペース	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	空調機械スペース
(分子遺伝学分野) (個別化医療TR分野)	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階	所長室 セミナー室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 がん予防研究分野 他
共通機器室管理室 バイオバンク部門 医局	2階	共通機器室	共通機器室	2階	図書室 共通機器室 小会議室 他
バイオバンク部門 共通機器室 学生研修室・更衣室 会議室	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階	電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた実験が行われている。1階には共通機器室の機器室・実験室、RI実験室が置かれている。2階から5階には9つの分野の研究室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、3つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セミナー室、電算

機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階、2階は、平成29年度に改修され、1階にはがんセンターバイオバンク愛知のフリーザー室、共通機器室、看護学生研修室、会議室が整備された。2階には、従来からある共通機器室管理室に加えて、同バイオバンクの作業室、病院医局が整備された。3階は、令和元年度に大規模な改修が行われ、2つの分野の研究室が整備された。



## 1. in vivo 発光・蛍光イメージングシステム

In vivo 発光・蛍光イメージングシステムは、体内での遺伝子発現やタンパクを、動物が生きたまま体外からモニタリングすることが可能な装置である。目的とする遺伝子の発現に従って発光・蛍光するようにした細胞を組み込んだ動物を作製し、これらから発する極めて微弱な光を超高感度CCDカメラで捉えることが可能となった。生体内における遺伝子の発現やタンパクの挙動を生きたまま、かつリアルタイムに観察することができる。



## 2. NGSライブラリー調整システム

NGS（次世代 DNA シーケンサ）ライブラリー調整システムは、組織などの細胞集団から、単一細胞化し、個々の細胞から RNA, DNA を調整する装置である。近年、不均一な細胞集団をそのまま解析するのではなく、個々の細胞をそれぞれ解析（シングルセル解析）した後、全体として細胞集団を理解することによって、がんの成り立ちや性質、また関連する免疫細胞の解析をする手法が確立されてきた。



## 3. デジタル PCR システム

デジタル PCR システムは、微小分画（ドロップレット）内で遺伝子増幅反応（PCR）を行うことにより、微量にしか発現しない遺伝子を定量する装置である。がんゲノム解析研究において、微量な遺伝子発現、変異、コピー数の変化の解析は、必須となっており、高感度、高精度、高速での定量が可能な本機は必須の装置となっている。また、ドロップレット内に 1 細胞を取り込むことにより、1 細胞単位での解析にも応用することができる。



## 4. 生細胞解析システム

生細胞解析システムは、多検体の培養細胞を培養装置内で経時的に顕微鏡観察できる装置である。様々な条件、薬剤処理した細胞の生死や、運動、細胞障害等を経時的に撮影、解析することができる。多数の検体を一度に解析できる機器は、個人レベルで最適な治療薬を見つける個別化医療の実現に向けて強力な武器となる。



# 組織と職員定数

組 織 (令和4年4月1日現在)



# 役職者一覧表

(令和4年5月1日現在)

役職名		氏名	備考	役職名		氏名	備考
総務部	総長	丹羽 康正		病院	循環器科部長	山本 充	
	副総長	柳野 正人			感染症内科部長	欠	
運用部	運用部長	日高 昭広			緩和ケア部長	下山 理史	
	管理課長	細井 功			精神腫瘍科部長	小森 康永	
	経営戦略課長	権田 行儀			看護部長	林 美子	副院長(兼)
病 院	病院長	山本 一仁			薬剤部長	内田 幸作	
	副院長	岩田 広治			臨床薬剤部長	加藤 正孝	
		清水 泰博			栄養管理部長	田近 正洋	内視鏡部長(兼)
		花井 信広			医療安全管理部長	清水 泰博	副院長(兼)
		林 美子			感染制御部長	藤原 豊	呼吸器内科部長(兼)
	消化器内科部長	原 和生			臨床試験部長	安藤 正志	
	内視鏡部長	田近 正洋			医療情報管理部長	岩田 広治	副院長(兼)
	呼吸器内科部長	藤原 豊			外来化学療法センター長	室 圭	副院長(兼)
	血液・細胞療法部長	欠			サルコマセンター長	筑紫 聡	整形外科部長(兼)
	薬物療法部長	室 圭	副院長(兼)		ゲノム医療センター長	衣斐 寛倫	がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長(兼)
	臨床検査部長	欠		地域医療連携・相談支援センター長	岩田 広治	副院長(兼)	
	遺伝子病理診断部長	細田 和貴		緩和ケアセンター長	下山 理史	緩和ケア部長(兼)	
	輸血部長	欠		研 究 所	研究所長	井本 逸勢	
	頭頸部外科部長	花井 信広	副院長(兼)		副所長	関戸 好孝	
	形成外科部長	高成 啓介			副所長	青木 正博	
	呼吸器外科部長	黒田 浩章			がん情報・対策研究分野長	伊藤 秀美	
	乳腺科部長	岩田 広治	副院長(兼)		がん予防研究分野長	松尾 恵太郎	
	消化器外科部長	清水 泰博	副院長(兼)		分子遺伝学分野長	欠	
	整形外科部長	筑紫 聡			がん病態生理学分野長	青木 正博	副所長(兼)
	リハビリテーション部長	吉田 雅博			分子腫瘍学分野長	関戸 好孝	副所長(兼)
	泌尿器科部長	小島 崇宏			システム解析学分野長	山口 類	
	婦人科部長	鈴木 史朗			腫瘍制御学分野長	小根山 千歳	
	院 所	脳神経外科部長	大野 真佐輔		腫瘍免疫応答研究分野長	籠谷 勇紀	
		麻酔科部長	仲田 純也		腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長	松下 博和	
		集中治療部長	小森 康司		分子診断トランスレーショナルリサーチ分野長	田口 歩	
		放射線診断・IVR部長	稲葉 吉隆		がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長	衣斐 寛倫	
		放射線治療部長	古平 毅		個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野長	欠	
外来部長		堀尾 芳嗣		共通機器室長	青木 正博	副所長(兼)	
手術部長		伊藤 誠二		バイオバンク部門長	松尾 恵太郎	がん予防研究分野長(兼)	

# 職種別・職員定数一覧表

(令和4年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	病院	研究所
総務	数	778	31	694	53
事務	業務	37	30	7	
医療社会事業員		1		1	
医師		161	1	131	29
歯科医師		2		1	1
理学士・研究員		13		1	12
診療放射線技師		29		29	
理学療法士		5		5	
言語聴覚士		1		1	
作業療法士		1		1	
薬剤師		38		38	
臨床検査技師		32		31	1
臨床工学技士		7		7	
看護師		403		403	
看護助手		1		1	
栄養士		3		3	
歯科衛生士		1		1	
その他給食関係職員		12		12	
臨床試験コーディネーター		14		14	
遺伝カウンセラー		3		3	
診療情報管理士		4		4	
研究補助		10			10

# 管理業務

## 会計予算

(収益的収入支出)

(単位：千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和3年度当初予算	令和4年度当初予算
(事業収益)		26,713,225	27,266,702
医業収益		23,267,073	23,904,110
	入院収益	10,258,452	10,512,832
	外来収益	10,815,438	10,920,358
	一般会計負担金	1,053,715	915,634
	その他医業収益	1,139,468	1,555,286
医業外収益		3,446,152	3,362,592
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,715,060	1,720,191
	一般会計補助金	23,414	68,717
	国庫補助金	33,643	33,649
	長期前受金戻入	102,634	112,405
	資本費繰入収益	856,982	628,766
	その他医業外収益	714,418	798,863
特別利益	特別利益	0	0
(事業費)		25,956,581	26,528,603
医業費用		25,722,133	25,887,961
	給与費	9,407,556	9,422,723
	材料費	11,018,635	11,029,232
	経費	3,057,414	3,265,272
	減価償却費	1,416,943	1,270,925
	資産減耗費	24,054	21,878
	研究研修費	797,531	877,931
医業外費用		218,118	219,930
	支払利息・企債諸費	48,127	43,257
	長期前払消費税償却	64,704	73,890
	雑損失	7,001	7,001
	消費税及び地方消費税	98,286	95,782
特別損失		11,330	415,712
予備費	予備費	5,000	5,000
差引損益		756,644	738,099

## (資本的収入支出)

(単位：千円)

(款)項	目	金額	
		令和3年度当初予算	令和4年度当初予算
(資本的収入)		1,959,959	1,593,028
企業債	企業債	1,006,600	878,000
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	847,874	0
他会計負担金	一般会計負担金	28,195	597,699
雑収入	雑収入	77,290	117,329
(資本的支出)		2,715,441	2,138,151
建設改良費		372,559	163,237
	建設費	0	0
	改良費	372,559	163,237
資産購入費		1,119,180	1,033,626
	医療器械購入費	762,342	826,228
	備品購入費	50	50
	リース債務費	356,788	207,348
企業債償還金	企業債償還金	1,223,702	941,288
収支		△ 755,482	△ 545,123

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

## 経営状況

(単位：千円・税抜き)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業収益	21,137,666	21,768,402	22,900,424	23,570,460	24,066,253	
内訳	入院収益	8,609,581	8,799,421	8,979,954	8,748,638	8,575,384
	外来収益	7,903,662	8,448,080	9,286,069	9,430,326	8,875,168
	一般会計負担金	2,591,071	2,439,078	2,443,363	2,700,086	2,768,775
	その他	2,033,352	2,081,823	2,191,038	2,691,410	3,846,926
	特別利益	0	0	0	0	0
事業費用	20,309,915	21,268,280	22,807,287	23,069,283	23,051,059	
内訳	給与費	7,973,624	8,177,679	8,533,312	8,771,115	9,036,220
	その他	12,336,291	13,090,601	14,273,975	14,298,168	14,004,589
	特別損失	0	0	0	0	10,250
純損益	827,751	500,122	93,137	501,177	1,015,194	

# がん患者状況（院内登録） 年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2020

※平成8年までは、ICD 9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位														
	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33,C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器の がん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,552	56	211	103	72	56	130	208	308	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,684	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	28	42	12	153
平成10年(1998)	1,805	63	284	129	72	73	139	257	311	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,070	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	194
平成14年(2002)	2,219	120	274	152	114	63	213	335	347	149	112	47	66	11	216
平成15年(2003)	2,297	124	276	161	118	61	207	326	327	160	149	51	79	8	250
平成16年(2004)	2,398	138	307	161	115	65	224	316	334	185	149	56	56	7	285
平成17年(2005)	2,645	163	331	173	169	81	236	347	379	196	144	45	65	11	305
平成18年(2006)	2,773	166	367	189	171	67	194	365	430	205	178	67	64	15	295
平成19年(2007)	2,841	178	359	177	181	75	220	359	424	175	205	66	45	20	357
平成20年(2008)	2,677	151	360	167	158	55	176	306	430	200	197	55	38	14	370
平成21年(2009)	2,969	167	320	165	161	85	265	400	439	263	232	56	36	22	358
平成22年(2010)	3,038	180	350	191	167	98	226	416	460	245	226	54	33	12	380
平成23年(2011)	3,043	182	330	175	156	77	263	412	499	208	227	59	38	15	402
平成24年(2012)	3,073	214	356	178	184	63	269	366	515	232	192	49	28	10	417
平成25年(2013)	3,075	187	333	181	158	65	296	389	536	221	193	64	30	15	407
平成26年(2014)	3,017	203	283	179	160	70	279	461	523	204	178	55	10	7	405
平成27年(2015)	3,103	169	336	187	186	66	286	482	493	171	216	50	2	5	454
平成28年(2016)	3,445	212	379	211	152	61	332	534	569	181	234	51	66	11	452
平成29年(2017)	3,604	245	362	212	188	69	308	542	578	188	237	58	89	12	516
平成30年(2018)	3,646	241	337	247	189	85	314	565	549	216	233	58	88	16	508
令和元年(2019)	3,656	250	338	226	188	90	351	588	556	148	236	53	86	20	526
令和2年(2020)	3,374	219	256	226	176	91	292	515	531	147	241	49	79	15	537
合計	112,788	5,290	18,673	6,148	5,732	2,696	8,870	13,946	19,055	10,780	4,756	1,942	2,337	663	11,900

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964 - 2020 ※平成8年までは、ICD 9による集計

区分 (ICD10)	がんの部位	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33~C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年 (1964)		100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年 (1965)		100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年 (1966)		100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年 (1967)		100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年 (1968)		100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年 (1969)		100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年 (1970)		100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年 (1971)		100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年 (1972)		100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年 (1973)		100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年 (1974)		100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年 (1975)		100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年 (1976)		100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年 (1977)		100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年 (1978)		100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年 (1979)		100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年 (1980)		100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年 (1981)		100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年 (1982)		100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年 (1983)		100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年 (1984)		100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年 (1985)		100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年 (1986)		100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年 (1987)		100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年 (1988)		100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年 (1989)		100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年 (1990)		100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年 (1991)		100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年 (1992)		100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年 (1993)		100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年 (1994)		100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年 (1995)		100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年 (1996)		100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.5	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.2
平成9年 (1997)		100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.9	8.0	4.3	1.6	2.5	0.7	9.1
平成10年 (1998)		100.0	3.5	15.7	7.1	4.0	4.0	7.7	14.2	17.2	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年 (1999)		100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年 (2000)		100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年 (2001)		100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年 (2002)		100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年 (2003)		100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年 (2004)		100.0	5.8	12.9	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.3	2.3	0.3	11.9
平成17年 (2005)		100.0	6.2	12.5	6.5	6.4	3.1	8.9	13.1	14.3	7.4	5.5	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年 (2006)		100.0	6.0	13.3	6.8	6.2	2.4	7.0	13.2	15.5	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.6
平成19年 (2007)		100.0	6.3	12.7	6.2	6.4	2.6	7.7	12.6	14.9	6.2	7.2	2.3	1.6	0.7	12.6
平成20年 (2008)		100.0	5.6	13.4	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.1	7.5	7.4	2.1	1.4	0.5	13.8
平成21年 (2009)		100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年 (2010)		100.0	5.9	11.6	6.3	5.5	3.2	7.4	13.7	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.5
平成23年 (2011)		100.0	6.0	10.8	5.8	5.1	2.5	8.6	13.6	16.4	6.8	7.5	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年 (2012)		100.0	7.0	11.6	5.7	6.0	2.1	8.8	11.9	16.8	7.5	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年 (2013)		100.0	6.1	10.8	5.9	5.2	2.1	9.6	12.7	17.4	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.2
平成26年 (2014)		100.0	6.7	9.4	5.9	5.3	2.3	9.2	15.3	17.4	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.5
平成27年 (2015)		100.0	5.4	10.9	6.0	6.0	2.1	9.2	15.5	15.9	5.5	7.0	1.6	0.1	0.2	14.6
平成28年 (2016)		100.0	6.2	11.0	6.1	4.4	1.8	9.6	15.5	16.5	5.3	6.8	1.5	1.9	0.3	13.1
平成29年 (2017)		100.0	6.8	10.0	5.9	5.2	1.9	8.5	15.1	16.1	5.2	6.6	1.6	2.5	0.3	14.3
平成30年 (2018)		100.0	6.6	9.3	6.8	5.2	2.3	8.6	15.5	15.1	5.9	6.4	1.6	2.4	0.4	13.9
令和元年 (2019)		100.0	6.8	9.3	6.2	5.1	2.5	9.7	16.0	15.2	4.0	6.5	1.4	2.4	0.5	14.4
令和2年 (2020)		100.0	6.5	7.6	6.7	5.2	2.7	8.7	15.3	15.7	4.4	7.1	1.5	2.3	0.4	15.9
合計		100.0	4.7	16.5	5.5	5.1	2.4	7.9	12.3	16.8	9.6	4.2	1.7	2.1	0.6	10.6

# 登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計） 1964 - 2019

※ 2022年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

2010年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年(1968)	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年(1969)	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年(1970)	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年(1972)	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年(1974)	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年(1977)	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年(1979)	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年(1980)	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年(1981)	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年(1982)	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年(1983)	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年(1984)	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年(1985)	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年(1986)	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年(1987)	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年(1988)	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年(1989)	1,287	1,008	883	819	784	757	642
平成2年(1990)	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年(1991)	1,298	1,080	943	873	826	786	685
平成4年(1992)	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年(1993)	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年(1994)	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年(1995)	1,545	1,259	1,095	992	932	901	760
平成8年(1996)	1,552	1,282	1,122	1,009	966	912	777
平成9年(1997)	1,684	1,407	1,212	1,101	1,037	994	845
平成10年(1998)	1,805	1,467	1,286	1,175	1,108	1,053	889
平成11年(1999)	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年(2000)	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年(2001)	2,070	1,677	1,486	1,366	1,273	1,208	1,003
平成14年(2002)	2,219	1,824	1,577	1,414	1,319	1,257	1,056
平成15年(2003)	2,297	1,909	1,665	1,537	1,437	1,363	1,157
平成16年(2004)	2,398	2,028	1,737	1,589	1,505	1,434	1,235
平成17年(2005)	2,645	2,242	1,951	1,781	1,678	1,617	1,390
平成18年(2006)	2,773	2,369	2,091	1,946	1,840	1,780	1,540
平成19年(2007)	2,841	2,425	2,164	2,013	1,909	1,828	1,580
平成20年(2008)	2,677	2,340	2,125	1,979	1,854	1,771	1,544
平成21年(2009)	2,969	2,533	2,249	2,075	1,970	1,888	1,639
平成22年(2010)	3,038	2,618	2,307	2,122	2,002	1,931	1,773
平成23年(2011)	3,043	2,633	2,335	2,174	2,075	1,985	1,854
平成24年(2012)	3,073	2,662	2,361	2,180	2,070	2,022	
平成25年(2013)	3,075	2,610	2,309	2,152	2,054	1,980	
平成26年(2014)	3,017	2,597	2,313	2,152	2,050	1,969	
平成27年(2015)	3,103	2,648	2,352	2,190	2,115	2,058	
平成28年(2016)	3,445	2,996	2,737	2,601	2,510	2,467	
平成29年(2017)	3,604	3,236	3,012	2,893	2,794		
平成30年(2018)	3,646	3,313	3,086	2,958			
令和元年(2019)	3,656	3,319	3,084				

# 登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（%）（男女計） 1964 - 2019

※ 2022年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

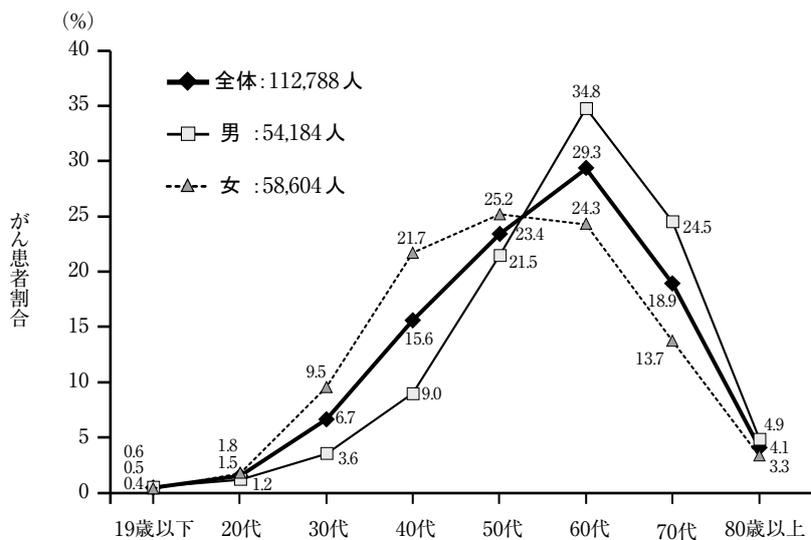
2010年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.9
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.8
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.2
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.2	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.6	72.0	65.4	61.6	59.0	50.2
平成10年（1998）	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.3
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.4	48.5
平成14年（2002）	82.2	71.1	63.7	59.4	56.6	47.6
平成15年（2003）	83.1	72.5	66.9	62.6	59.3	50.4
平成16年（2004）	84.6	72.4	66.3	62.8	59.8	51.5
平成17年（2005）	84.8	73.8	67.3	63.4	61.1	52.6
平成18年（2006）	85.4	75.4	70.2	66.4	64.2	55.5
平成19年（2007）	85.4	76.2	70.9	67.2	64.3	55.6
平成20年（2008）	87.4	79.4	73.9	69.3	66.2	57.7
平成21年（2009）	85.3	75.7	69.9	66.4	63.6	55.2
平成22年（2010）	86.2	75.9	69.8	65.9	63.6	58.4
平成23年（2011）	86.5	76.7	71.4	68.2	65.2	60.9
平成24年（2012）	86.6	76.8	70.9	67.4	65.8	
平成25年（2013）	84.9	75.1	70.0	66.8	64.4	
平成26年（2014）	86.1	76.7	71.3	67.9	65.3	
平成27年（2015）	85.3	75.8	70.6	68.2	66.3	
平成28年（2016）	87.0	79.4	75.5	72.9	71.6	
平成29年（2017）	89.8	83.6	80.3	77.5		
平成30年（2018）	90.9	84.6	81.1			
令和元年（2019）	90.8	84.4				

### ①がん患者 年齢構成図

(昭和39年12月～令和2年12月)

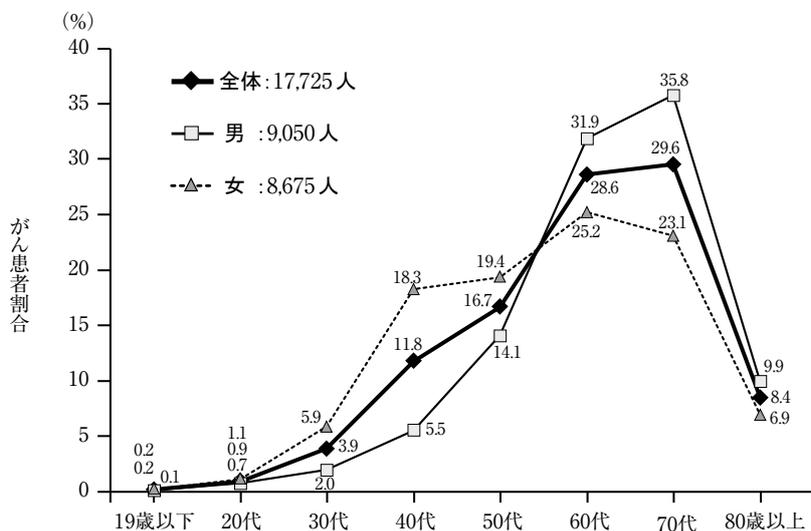
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	307	657	1,925	4,881	11,635	18,850	13,297	2,632	54,184
	%	0.6%	1.2%	3.6%	9.0%	21.5%	34.8%	24.5%	4.9%	100.0%
女	患者数	235	1,042	5,585	12,729	14,771	14,232	8,050	1,960	58,604
	%	0.4%	1.8%	9.5%	21.7%	25.2%	24.3%	13.7%	3.3%	100.0%
計	患者数	542	1,699	7,510	17,610	26,406	33,082	21,347	4,592	112,788
	%	0.5%	1.5%	6.7%	15.6%	23.4%	29.3%	18.9%	4.1%	100.0%



### ②がん患者 年齢構成図

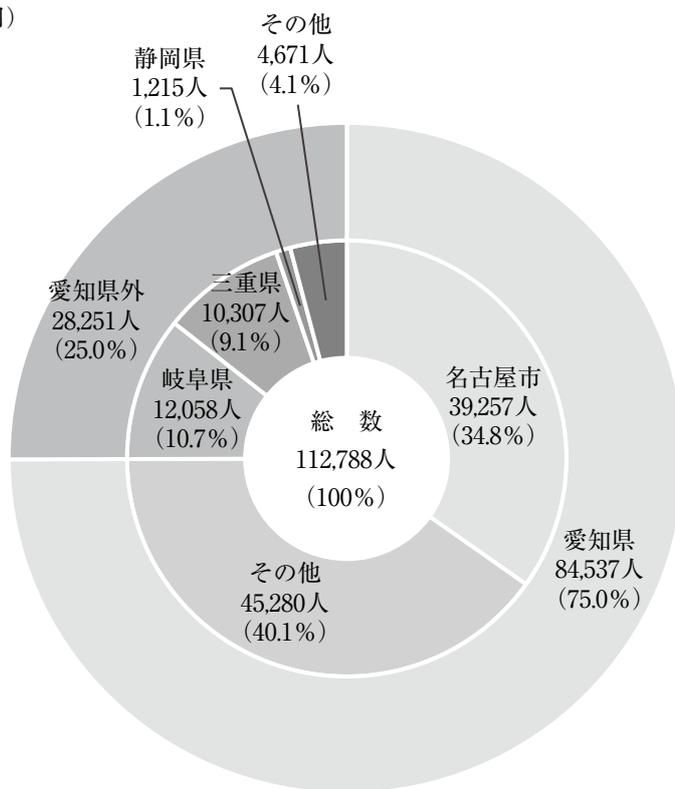
(平成28年1月～令和2年12月)

		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	12	66	178	501	1,273	2,883	3,239	898	9,050
	%	0.1%	0.7%	2.0%	5.5%	14.1%	31.9%	35.8%	9.9%	100.0%
女	患者数	18	98	508	1,585	1,679	2,188	2,000	599	8,675
	%	0.2%	1.1%	5.9%	18.3%	19.4%	25.2%	23.1%	6.9%	100.0%
計	患者数	30	164	686	2,086	2,952	5,071	5,239	1,497	17,725
	%	0.2%	0.9%	3.9%	11.8%	16.7%	28.6%	29.6%	8.4%	100.0%



### ①がん患者 県別分布数

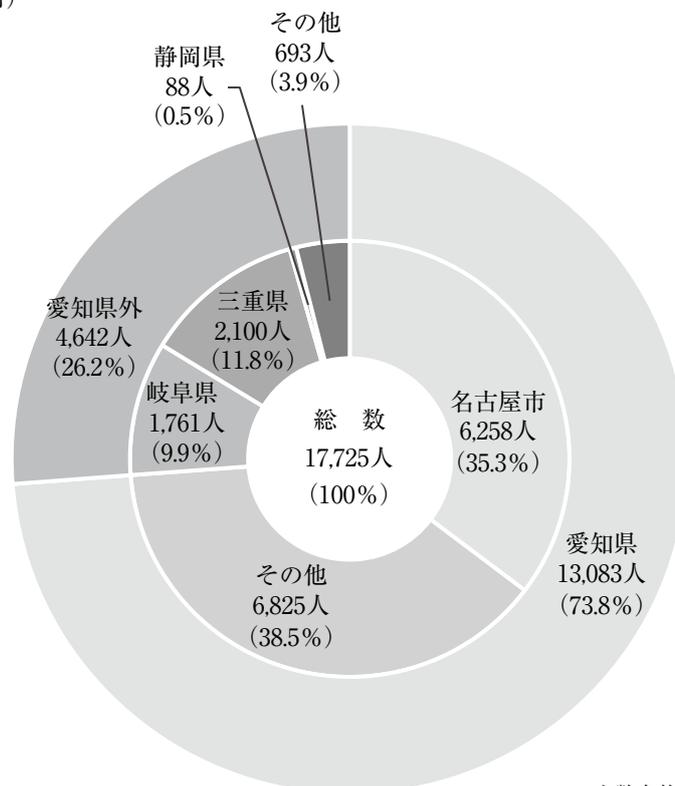
(昭和39年12月～令和2年12月)



※小数点第二位を四捨五入

### ②がん患者 県別分布数

(平成28年1月～令和2年12月)



※小数点第二位を四捨五入



# 主な備品・設備

備 品 (令和4年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Singa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成21年度	Senographe DS Depister GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/Rapideyecore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFx-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノン <sup>®</sup> イカルシステム <sup>®</sup>	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA 日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線診断装置	令和元年度	BENE0-Fx・CALNEO Smart C77 富士フィルム	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	令和2年度	Aquilion ONE PRISM Edition キヤノン <sup>®</sup> イカルシステム <sup>®</sup>	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	令和3年度	AquilionONE/Alphenix キヤノン <sup>®</sup> イカルシステム <sup>®</sup>	1	放射線診断・IVR部
一般X線撮影システム	令和3年度	Beneo Fx/CALNEO-SmartC77 富士フィルムメディカル	1	放射線診断・IVR部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	C vision PLUS 島津	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロレレクトロンHDRシステム ニューレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	令和元年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和元年度	Radixact X9 Accuray	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
手術用顕微鏡	令和3年度	Arveo ライカマイクロシステムズ	1	手術室
注射薬自動払出システム	令和2年度	UNIPUL-5000 トーショー	1	薬剤部
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
動物飼育設備	平成11年度	ダイダグ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS Aria III 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成28年度	LSM800 カールツァイス	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoSca n GX II リガク	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

## 附属設備 (令和4年4月1日現在)

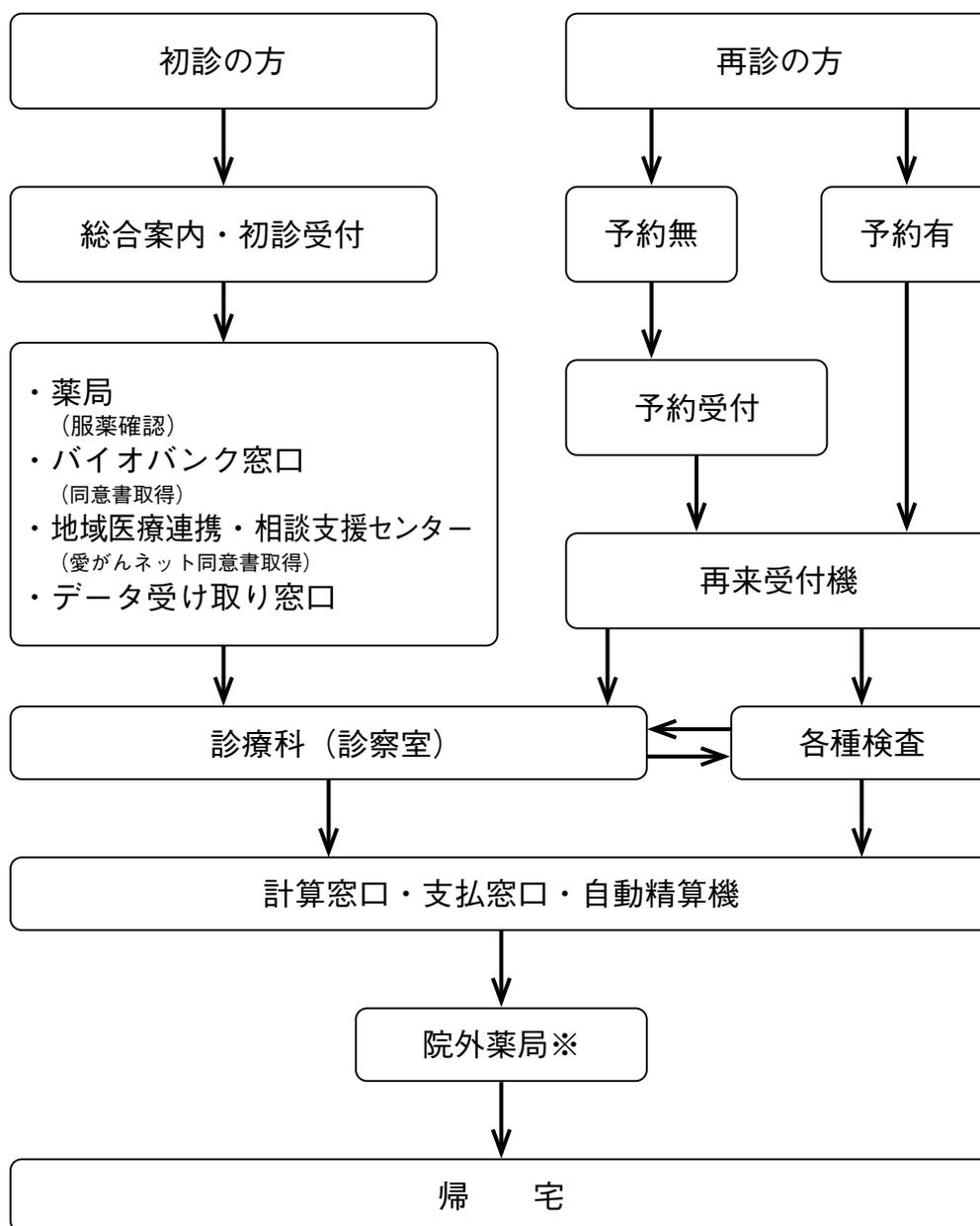
設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷凍機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチラー	4		高圧配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボイラー	2		非常用発電機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫流ボイラー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷温水発生器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空調機	118		電話交換機	1			
	送排風機	322		昇降機	19			

# 病院業務 (令和4年4月1日現在)

**診療科目** 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、循環器内科、感染症内科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科 計 27診療科

**病床数** 500床

## 外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方する場合があります。

## 外来患者状況

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
診 療 日 数	244	244	242	243	242
新 来 患 者 数	5,705	5,502	5,415	4,612	4,902
患 者 延 数	144,006	145,559	145,131	139,861	143,944
1 日 平 均 患 者 数	590.2	596.6	599.7	575.6	594.8
平 均 通 院 回 数	25.2	26.5	26.8	30.3	29.4
紹 介 患 者 比 率	97.1	97.8	98.2	99.0	99.1
外 来 化 学 療 法 件 数	25,249	27,005	27,973	28,626	29,018

## 入院患者状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
患 者 総 数	総 数	10,923	11,156	10,940	10,414	10,004
	繰 越	342	307	328	308	316
	新入院	10,581	10,849	10,612	10,106	9,688
退 院 患 者 数	総 数	10,616	10,828	10,632	10,098	9,692
	死 亡	392	315	361	285	251
	その他	10,224	10,513	10,271	9,813	9,441
患 者 延 数		141,017	137,547	137,297	124,913	118,174
1 日 平 均 患 者 数		386.3	376.8	375.1	342.2	323.8
平 均 在 院 日 数		12.3	11.7	11.9	11.4	11.2
病 床 利 用 率		81.7	79.7	79.3	72.4	68.4
病 床 回 転 率		27.4	28.8	28.3	29.5	29.9
死 亡 率		3.7	2.9	3.4	2.8	2.6

## 住所地別患者数

区 分	住 所 地	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	4,308	78.3%	4,283	79.1%	3,708	80.4%	3,906	79.7%
	名古屋市	2,363	42.9%	2,460	45.4%	2,009	43.6%	2,155	44.0%
	その他	1,945	35.4%	1,823	33.7%	1,699	36.8%	1,751	35.7%
	県 外	1,194	21.7%	1,132	20.9%	904	19.6%	996	20.3%
	総 数	5,502	100.0%	5,415	100.0%	4,612	100.0%	4,902	100.0%
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	8,095	74.6%	7,933	74.8%	7,712	76.3%	7,262	75.0%
	名古屋市	3,748	34.5%	3,741	35.3%	3,586	35.5%	3,400	35.1%
	その他	4,347	40.1%	4,192	39.5%	4,126	40.8%	3,862	39.9%
	県 外	2,754	25.4%	2,679	25.2%	2,394	23.7%	2,426	25.0%
	総 数	10,849	100.0%	10,612	100.0%	10,106	100.0%	9,688	100.0%

## 患者給食実施状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院患者延数		141,017	137,547	137,297	124,913	118,174
給食数 (配膳延食数)	総数	288,656	277,450	275,840	252,118	244,150
	一般食	222,360	206,172	203,641	181,737	170,908
	特別食	66,296	71,278	72,199	70,381	73,242

## 放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数		51,296	51,946	50,727	49,517	50,267
単純撮影		45,109	45,298	44,292	43,042	43,593
造影撮影		4,995	5,165	4,920	5,079	4,990
特殊撮影		1,192	1,483	1,515	1,396	1,684

## アイソトープ検査件数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数		882	743	743	710	694
シンチスキャン		502	387	383	334	380
センチネルリンパ		341	331	305	346	276
動態計測		39	25	55	30	38

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

## コンピュータ断層撮影件数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数		24,463	26,935	29,598	28,959	28,878
C	T	20,363	22,933	24,191	23,568	23,694
M	R I	4,100	4,002	5,407	5,391	5,184

## 超音波断層撮影件数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数		4,226	3,903	3,302	2,947	3,146
部 位 別	甲状腺	325	319	334	275	240
	乳 腺	802	854	753	742	813
	腹 部	2,580	2,389	1,851	1,604	1,567
	その他	519	341	364	326	526

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

## 放射線照射回数（治療）

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数		45,532	50,641	51,617	44,771	45,013
放射線治療計画策定件数		1,352	1,650	1,573	1,364	1,289
放射性物質	R A L S	95	109	100	88	64
	小 線 源	12	4	3	5	7
そ の 他	リニアック	42,943	47,515	48,619	42,084	42,441
	C T	1,117	1,354	1,317	1,228	1,212
	シミュレーター	13	9	5	2	0

## 一般臨床検査件数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数		3,381,703	3,429,166	3,498,819	3,480,910	3,642,919
尿 検 査		31,026	31,737	32,864	31,049	30,189
糞 便 検 査		305	232	250	231	238
血液学的検査		1,035,217	1,044,551	1,045,347	1,046,706	1,079,160
生化学的検査		1,804,583	1,839,245	1,889,679	1,869,585	1,933,438
細菌学的検査 (監視培養検査)		25,293 (1,727)	22,542 (1,669)	22,413 (1,738)	26,200 (1,722)	28,031 (1,493)
血清学的検査		254,321	258,012	269,369	266,098	276,377
病理組織検査		9,682	9,825	9,553	9,144	9,401
癌遺伝子検査		2,570	2,626	2,797	3,163	3,100
細胞学的検査		7,463	6,539	5,898	5,707	5,449
血液ガス検査		1,151	1,099	2,369	2,568	2,766
その他	採血業務	207,792	210,722	216,328	218,562	272,098
	治験処理等	2,300	2,036	1,952	1,897	2,672

(注) ( ) 内は内数。

## 機能検査件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	23,108	22,820	22,947	22,326	24,271
心 電 図 検 査	5,355	5,261	4,978	4,823	5,287
負 荷 心 電 図 検 査	2,275	2,287	2,378	2,249	2,216
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	1,029	633	539	533	612
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	191	73	57	50	60
心 臓 超 音 波 検 査	3,265	3,046	3,261	3,384	3,406
肺 機 能 検 査	9,920	10,418	10,782	10,328	11,643
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	109	82	81	83	82
聴 力 検 査	153	148	96	116	137
乳 腺 超 音 波 検 査	811	872	775	760	828

## 部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,518,795	3,476,756	42,039	3,498,743	3,451,434	47,309	3,644,691	3,614,248	50,443
一 般 検 査	137,194	137,159	35	132,611	132,585	26	130,917	130,872	45
血 液 検 査	714,664	713,789	875	715,205	714,457	748	740,286	739,547	739
免 疫 血 清 検 査	205,408	196,420	8,988	202,160	188,512	13,648	212,382	198,977	13,405
生 化 学 検 査	2,059,120	2,029,651	29,469	2,040,491	2,009,690	30,801	2,112,582	2,078,517	34,065
微 生 物 検 査	54,296	51,705	2,591	54,899	52,896	2,003	58,414	56,307	2,107
病 理 細 胞 診 検 査	105,921	105,921	0	109,572	109,572	0	111,298	111,298	0
生 理 検 査	22,947	22,866	81	22,326	22,243	83	24,271	24,189	82
そ の 他 の 検 査	219,245	219,245	0	221,479	221,479	0	274,541	274,541	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

## 内視鏡検査件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	11,495	11,929	11,778	11,390	10,716
上 部 消 化 管	6,352	6,572	6,565	6,093	6,003
下 部 消 化 管	2,874	2,890	2,884	2,777	2,016
気 管 支	218	181	198	153	178
膵 胆 管 造 影 (ERCP)	501	515	464	588	627
超 音 波 内 視 鏡 (EUS)	862	1,036	955	1,054	1,100
超 音 波 内 視 鏡 下 穿 刺 生 検 (EUS-FNA)	451	456	478	432	507
そ の 他 検 査	237	279	234	293	285

## 内視鏡治療件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	1,225	1,297	1,384	1,419	1,449
食 道 E M R	5	7	22	10	14
胃 E M R	0	0	0	0	0
大腸EMR、ポリペク	362	357	398	429	452
食 道 E S D	59	61	75	68	72
胃 E S D	85	96	92	82	89
大 腸 E S D	56	58	60	73	56
食道狭窄拡張術	197	151	190	94	119
胆道ステント留置術	327	399	409	521	500
乳頭切開術、胆道碎石術	134	168	138	142	147

## 手術件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	3,230	3,351	3,380	3,287	3,203
頭 頸 部 外 科	453	502	491	453	405
呼 吸 器 外 科	398	389	469	422	391
乳 腺 科	475	489	466	459	452
消 化 器 外 科	910	962	914	854	865
婦 人 科	289	255	232	275	252
泌 尿 器 科	235(12)	239(4)	227(3)	241(4)	236(8)
整 形 外 科	297	320	381	347	325
形 成 外 科	148	145	116	128	145
そ の 他	25	50	84	108	132

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。  
泌尿器科の（ ）内は小線源治療数（外数）

## 主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	部 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
頭 頸 部 が ん	365	359	311	子 宮 頸 が ん	29	36	23
食 道 が ん	100	87	94	(円錐切除)	68	61	49
肺 が ん	330	325	287	子 宮 体 が ん	45	52	33
乳 が ん	455	432	423	卵 巢 が ん	36	32	31
胃 が ん	164	127	133	前 立 腺 が ん	51	48	42
大 腸 が ん	425	369	380	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	105	91	80
肝 ・ 胆 が ん	73	71	78	I V R	1,796	1,849	1,675
膵 臓 が ん	86	109	90	造 血 幹 細 胞 同 種	3	1	2
				移 植 自 家	7	3	9

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

## 薬剤業務状況

区 分			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
処 方	枚 数	総 数	83,091	81,216	83,886	89,496	77,841	
		外 来	8,993	10,666	11,043	10,256	2,436	
		入 院	74,098	70,550	72,843	79,240	75,405	
	剤 数	総 数	174,113	173,633	178,633	168,076	134,311	
		外 来	32,502	37,035	38,585	36,620	9,186	
		入 院	141,611	136,598	140,048	131,456	125,125	
延 剤 数	総 数	1,439,047	1,511,444	1,631,014	1,563,215	991,479		
	外 来	531,000	634,276	701,985	685,346	171,976		
	入 院	908,047	877,168	929,029	877,869	819,503		
治 験 処 方 枚 数			総 数	839	960	1,029	1,052	1,295
			外 来	777	881	862	996	1,230
			入 院	62	79	167	56	65
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	107,138	107,490	109,413	104,216	143,653	
		外 来	33,023	34,841	36,398	36,277	40,315	
		入 院	74,115	72,649	73,015	67,939	103,338	
	剤 数	総 数	462,085	468,751	478,369	460,872	527,468	
		外 来	108,569	116,479	124,757	125,011	143,943	
		入 院	353,516	352,272	353,612	335,861	383,525	
*1 外来患者指導	常用薬調査 窓口指導	人 数	5,462	5,858	5,686	4,863	4,895	
		件 数	192	206	328	280	219	
*2	外来抗がん剤調製数	件数(患者数)	20,587	22,039	23,082	23,183	24,408	
		剤 数	34,146	35,801	39,039	38,577	39,090	
*3	外来抗がん剤調製数 (治験)	件数(患者数)	1,468	1,354	1,391	1,778	1,890	
		剤 数	1,841	1,717	1,748	2,423	2,669	
*4	入院抗がん剤調製数 (治験を含む)	件数(患者数)	9,394	8,736	8,280	7,315	7,302	
		剤 数	13,454	12,612	12,689	11,040	10,266	
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数			8,058	7,729	7,886	7,432	5,142	
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数			18,781	20,566	21,194	20,384	16,531	
*5 T P N 調 製 件 数			—	—	—	1,322	2,090	
T D M 実 施 件 数			262	243	205	365	318	

- \* 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上
- \* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上
- \* 3 外来抗がん剤調製数(治験)は、薬剤師が調製した分のみを計上(※1の外数)
- \* 4 入院抗がん剤調製数(治験を含む)は、薬剤師が調製した分のみを計上
- \* 5 TPN調製件数は、令和2年5月から薬剤部が調製した分を計上

## 臨床薬剤業務状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
薬 剤 管 理 指 導 数	人 数	6,000	7,512	6,218	7,884	7,293
	算定件数	8,247	10,128	7,829	9,939	9,014
*1 病棟薬剤業務実施加算件数		20,812	24,287	23,855	23,561	22,624
*2 プレアボイド報告件数		—	—	21	23	51

- \* 1 病棟薬剤業務実施加算件数は、令和元年度までは実施加算1のみ、令和2年度より実施加算1及び2の総数を計上
- \* 2 プレアボイド報告件数は、令和元年5月からの実施分を計上

## 院外処方せん交付状況

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
処方せん総枚数	60,306	61,360	62,778	61,034	62,696
院内処方せん枚数(外来)	8,993	10,666	11,043	10,256	2,436
院外処方せん枚数	51,313	50,694	51,735	50,778	60,260
比率 $\left(\frac{\text{院外処方せん枚数}}{\text{処方せん総枚数}}\right) \%$	85.1	82.6	82.4	83.2	96.1

## 血液使用状況

### 1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自 己 血 液	68	28	22	14	10
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,623	4,656	5,018	4,558	4,340
他の赤血球製剤	0	0	8	0	0
凍 結 血 漿	1,054	1,588	1,094	1,600	1,196
血 小 板	10,292	7,750	9,335	7,495	7,895

(注) 全血製剤は血液200 mlを1単位、成分製剤は血液200 mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

### 2. 検査件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,542	2,531	2,701	2,456	2,242
血 液 型 ( A B O )	8,603	8,124	8,825	8,931	8,912
R H 因 子	8,603	8,124	8,825	8,931	8,912
間 接 ク ー ム ス 試 験	4,227	3,692	4,254	4,628	4,446
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	8,581	8,101	8,821	8,928	8,909
直 接 ク ー ム ス 試 験	36	18	30	49	24

## 治験等実施件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	153 (4)	166 (2)	191 (3)	208 (4)	211 (2)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	12	18	16	11	8
製 販 後 使 用 成 績 調 査	53	52	44	41	42
そ の 他	1	0	0	0	0
合 計	219	236	251	260	261
( 新 規 依 頼 分 )	(52)	(56)	(63)	(55)	(59)
医 師 主 導 治 験	8	12	20	23	25

## 臨床研究件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
倫理審査委員会承認件数(新規)	194	176	166	188	177
倫理審査委員会承認件数(変更)	130	104	98	116	148
合 計	324	280	264	304	325

## 死体解剖数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
死 亡 患 者 数	392	315	361	285	251
解 剖 数	4	2	0	1	2
解 剖 率	1.0	0.6	0.0	0.4	0.8

## がんゲノム外来件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件 数	—	—	99	371	396

※令和元年10月より開始。

## エキスパートパネル件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
検 討 症 例 数	—	—	72	373	385

※令和元年11月より開始。

## 遺伝カウンセリング件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件 数	109	140	153	273	280

## セカンドオピニオン

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件 数	1,448	1,435	1,258	1,137	1,245

## 相談件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医 療 社 会 福 祉 相 談	6,689	6,842	4,541	4,338	5,020
〔内訳 電話相談〕	4,692	4,749	2,480	2,039	2,422
〔 面接相談〕	1,997	2,093	2,061	2,299	2,598
就 労 相 談	46	40	47	23	7
就 職 相 談	110	131	112	70	47
両立相談(平成29年11月～)	8	29	24	8	0

# 研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんに関わる研究機関としての研究業務も主たる設置目的の一つに含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎・社会医学的研究及びトランスレーショナル研究が相まって、当センターの総合がんセンターとしての機能を発揮している。

令和4年度における研究課題は、次のとおりである。

## 重点プロジェクト研究課題

### がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 大規模病院疫学研究を基盤とした遺伝性腫瘍のリスク群における個別化予防を志向したエビデンス創出研究
- 2 大規模病院疫学研究をベースとした環境要因・遺伝要因を用いた散発性がんの個別化予防を志向したエビデンスの創出研究

### がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬に対する耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 難治がんPDXモデルのライブラリー整備とその多層的オミクス解析による統合データ基盤構築

### がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 ネオアンチゲンを標的としたがんワクチン療法の開発
- 2 遺伝子改変による腫瘍浸潤T細胞の改良技術構築と難治性がんを標的としたキメラ抗原受容体T細胞療法の新規開発

### がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん対策、医療評価と将来予測のための、生活習慣情報、社会経済的情報、医療情報の連結データベースの構築と活用
- 2 がんゲノム医療の精密化に資する人工知能を活用した情報解析基盤の構築

## 研究所における分野別研究課題

### がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

### がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

### 分子遺伝学分野

(選考中)

#### がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

#### 分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

#### システム解析学分野

- 1 統計的モデリングおよび深層学習技術を活用したがん細胞および免疫細胞データ解析法の開発研究
- 2 臨床シーケンスへ向けたがん変異およびシステム変調情報の解釈・翻訳法の研究

#### 腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

#### 腫瘍免疫応答研究分野

- 1 遺伝子改変による養子免疫療法の改良開発
- 2 免疫療法抵抗性に関わる腫瘍細胞特性の解明

#### 腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がん免疫編集のメカニズムの解明
- 2 腫瘍特異抗原の同定と免疫応答の解析
- 3 ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法の開発

#### 分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 がんの診断・治療個別化に有用な血液バイオマーカーの探索
- 2 網羅的分子プロファイリングによるがんの分子病態の解明と新規治療標的分子の探索

#### がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

#### 個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

## 特許の状況

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
発 明 件 数		1	2	3	1	1
出 願 件 数		1	1	4	0	2
登 録 件 数	年 度 当 初	31	27	20	18	16
	新 規	3	2	1	2	1
	権 利 消 滅	7	9	3	4	4
	年 度 末	27	20	18	16	13
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	6	4	2	3	3
	新 規	0	0	1	0	1
	満 了 ・ 解 約	2	2	0	0	0
	年 度 末	4	2	3	3	4

(注) 出願件数には外国出願、国際（PCT）出願を含む。

## 研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
79	96	112	94	111

## 公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	43,663	98,515	111,719	89,599	65,179
	件 数	21	23	21	31	21
文部科学省(日本学術振興会)基金	金 額	50,174	42,919	46,176	67,288	86,177
	件 数	35	36	36	53	72
厚生労働省補助金	金 額	3,650	2,950	4,699	10,450	8,130
	件 数	7	7	9	6	6
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	114,565	128,211	140,692	200,815	246,581
	件 数	46	53	48	47	49
JST(科学技術振興機構)	金 額	13,000	16,900	16,900	16,900	77,174
	件 数	1	1	1	2	3
国立がん研究センター研究開発費	金 額	7,950	10,250	10,470	10,470	10,610
	件 数	9	7	6	5	6
そ の 他	金 額	800	0	0	330	1,320
	件 数	1	0	0	1	1
計	金 額	233,802	299,745	330,656	395,852	495,171
	件 数	120	127	121	145	158

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

### 【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	37,287	96,689	110,432	87,227	63,359
	件 数	16	19	17	26	19
文部科学省(日本学術振興会)基金	金 額	29,081	29,769	27,833	46,488	41,639
	件 数	13	22	22	32	33
厚生労働省補助金	金 額	1,550	1,650	3,299	1,350	1,050
	件 数	3	4	6	3	3
AMED(日本医療研究開発機構)	金 額	66,606	75,041	92,062	138,497	205,177
	件 数	11	17	14	17	26
JST(科学技術振興機構)	金 額	13,000	16,900	16,900	16,900	77,174
	件 数	1	1	1	2	3
国立がん研究センター研究開発費	金 額	3,400	3,400	4,400	4,100	4,500
	件 数	3	3	4	4	5
そ の 他	金 額	0	0	0	330	1,320
	件 数	0	0	0	1	1
計	金 額	150,924	223,449	254,926	294,892	394,219
	件 数	47	66	64	85	90

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

# 類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	大阪府	
	がんセンター		がんセンター	静岡がんセンター	がんセンター	がんセンター (独立行政法人)	がんセンター (独立行政法人)	国際がんセンター (独立行政法人)	
事業開始年月	S39.12.1		S50.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	S34.9.15	
病床数	500	3	503	615	400	383	415	500	
※ 稼働状況	病床利用率 (%)	68.4	5	70.6	81.6	66.1	66.3	79.7	85.4
	平均在院日数 (日)	11.4	3	12.9	12.1	11.7	15.3	10.8	9.6
	1日平均外来患者数 (人)	576	6	841	1,349	662	333	1,059	1,199
※ 収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入 (円)	70,038	6	71,536	74,546	72,378	60,795	80,036	87,839
	外来患者1人1日当たり診療収入 (円)	67,427	1	38,504	49,431	54,351	50,715	40,496	35,372
※ 繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額 (千円)	7,366	6	5,411	10,848	2,381	6,000	6,396	4,075
	一般会計繰入金対経常収益 (%)	15.5	5	12.4	17.3	5.4	18.4	10.7	7.2
※ 経営状況	経常収支比率 (%)	101.9	2	99.1	98.7	97.3	99.7	103.5	98.0
	医業収支比率 (%)	91.6	5	85.5	87.2	93.7	99.8	103.9	102.6
	修正医業収支比率 (%)	86.6	5	85.3	86.8	93.7	81.9	93.2	95.2
	職員給与費対医業収益 (%)	42.1	4	47.5	43.3	43.1	41.4	33.3	35.1
	病床1床当たり実質損益 (千円)	△ 6,482	6	△ 5,718	△ 11,880	△ 6,609	△ 6,097	△ 4,471	△ 5,265
	病床1床当たり純利益 (△) 純損失 (千円)	884	2	△ 308	△ 1,031	△ 4,227	△ 97	1,925	△ 1,190
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額 (千円)	4,002	3	3,101	3,091	△ 1,960	2,174	6,798	4,985

注1 数値は「令和2年度地方公営企業決算の状況」の報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) / 医業費用 × 100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) / 許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失 + 減価償却費 + 資産減耗費 + 繰延勘定償却) / 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。

## 外来診療案内

(令和4年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分（自動再来受付機は午前8時）から午前11時30分（予約の場合は午後5時）まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器疾患	月～金
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金
循環器科	循環器疾患	月・火・木
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金
形成外科	形態治療・機能再建	月～木
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	月～金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金
整形外科	整形外科疾患	月～水・金
脳神経外科	脳神経疾患	月・水～金
泌尿器科	泌尿器疾患	月・水・金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	月～木
眼科	眼科疾患	火(午前)・金(午後)
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～水・金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金〈予約制〉
緩和ケア科	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療 月～金〈予約制〉
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療 水〈予約制〉
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療 火・木〈予約制〉
ゲノム医療センター	遺伝カウンセリング外来	遺伝カウンセリング・遺伝学的検査の提供 月～金〈予約制〉
	がんゲノム外来	がん遺伝子パネル検査の提供 月・水・金〈予約制〉

※1 遺伝カウンセリング外来及びがんゲノム外来は、自費診療の場合があります。  
 ※2 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています（完全予約制・自費診療）。

## 入院案内

(令和4年4月1日現在)

### ◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「入院誓約書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。  
 なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

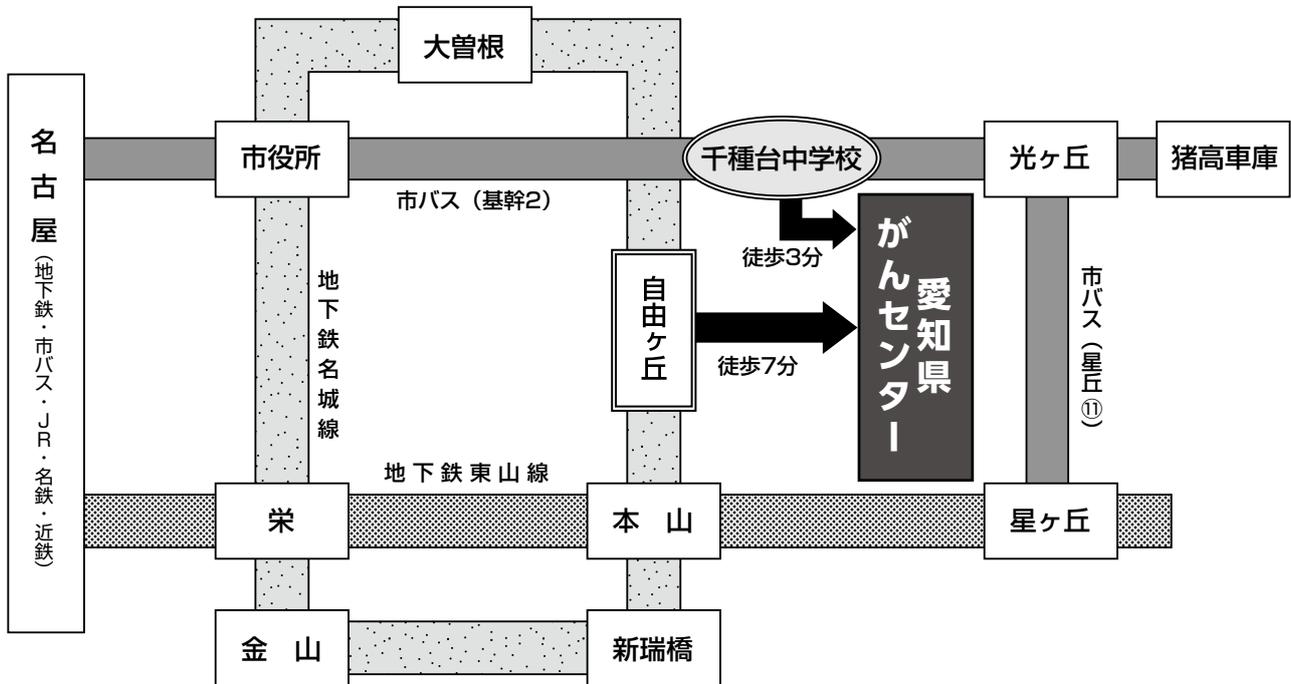
区 分	A室	B室	C室	D室
室 料（1日につき）	33,000円	17,600円	12,650円	7,330円

(税込)

### ◆ 面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります（新型コロナウイルス対策のため、4月1日現在、原則面会禁止）。  
 月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで  
 土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
  - (1) 面会の取次ぎは、看護師にお申出ください。
  - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないようデールーム（面会室）をご利用ください。
  - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
  - (4) 敷地内は全面禁煙になっています。
  - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんの迷惑にならないようお願いします。

# 交通案内



## 地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約 30 分】  
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約 20 分】  
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約 35 分】  
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

## 市バス利用 「千種台中学校」から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約 40 分】  
基幹 2 系統「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約 20 分】  
星丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

## 自家用車利用 本山交差点から北へ7分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋 IC」から西へ約 15 分  
名古屋 IC より、名古屋長久手線(60 号線)を西(星ヶ丘方面)へ 2,600m 進み、「打越」交差点を右折、1,600m 先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m 先の「希望ヶ丘 4」交差点を左折、300m 先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約 10 分  
四谷出口より 800m 先の「四谷通 3」交差点を左折、北へ 1,500m 進み「猫洞通 2」交差点を左折、1,300m 先の「自由ヶ丘 3」交差点を右折、400m 先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要

令和4年度

令和4年6月発行

発行所 愛知県がんセンター  
名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
電話 052-762-6111 (〒464-8681)  
<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

印刷 藤成印刷株式会社  
名古屋市昭和区塩付通6丁目7-2番 (〒466-0022)  
電話 052-841-0588 FAX 052-841-0664



愛知県がんセンター  
Aichi Cancer Center